

## 猿猴（えんこう）ばあさん

むかしむかし、ある村に男でもかなわない力持ちで有名な庄屋の奥さんがいた。ある年の夏のおわり、川遊びをしていた子どもを家に送ろうと声をかけたが、なんとそれはいたずら好きのカッパだった。強い力でカッパをこらしめた庄屋の奥さん。カッパたちは「二度と悪さをしない。川で子どもがおぼれていたらかならず助ける」と約束した。

つぎの日の朝、庄屋さんの家の軒下のクギに小さな川魚がつるしてあった。その横には大きなお皿が1まい置いてあった。カッパたちは毎日、魚を持ってきて庄屋さんの家の軒下のクギにつるしていた。

ある日、庄屋さんが「もっと大きなクギにしたら、大きな魚を持ってくるかもしれんぞ」とクギを鹿の角と取りかえた。するとカッパはそれっきり、魚を持って来なくなった。なぜならカッパは、鹿の角がだいきらいだったのだ。

最初の日にかッパが置いていった大きなお皿は『えんこう（カッパ）皿』と名付けられ、庄屋さんの家宝として大切にされた。庄屋の奥さんはそれから三十年も長生きして「力持ちのえんこう（カッパ）ばあさん」とよばれ、村の子どもたちに死ぬまでしたわれていたという。 おしまい♡

---